

被推薦者／応募者										推薦者(個人)				推薦者(法人・団体)				
No.	推薦 応募 の別	氏名	年齢	性別	職業	経歴	農業経営の状況	認定農業者 等の有無	推薦・応募の理由	氏名	年齢	性別	職業	名称	代表者又は 管理者の氏名	活動の目的	構成員数	構成員の資格、 要件等
1	応募	岸田 一男	69	男	農業	平成27年3月 平成28年3月 令和4年3月 現在 久喜市役所定年退職 清久公民館再任用終了 久喜第56区長退任 久喜市農業委員会委員1期目 南彩農業協同組合 総代兼監事 北青柳本田大豆営農集団員 埼玉県農業共済組合 損害評価委員	現在は、水稲、小麦及び北青柳本 田大豆営農集団で大豆の作付を実 施している。 水稲作付 約70a 小麦作付 約80a 大豆集団作付 約600a 野菜等	無	現在、久喜市農業委員会委員1期 目。この3年間で、農業に関する要 件が急速に変化していると感じる。 ひとつには、農地を取得する際の農 地所有の要件の緩和があった。また 一方で、国は、農業振興地域の農用 地区域の確保を図っているが、「人、 農地プラン」から「地域計画」と変わ り、農業を行う「担い手」不足に伴 い、農地の集約化、小規模農地から 大規模農地へという動きになってい る。いずれにしても、いかに農業を進 めるか、遊休農地の解消をいかに進 めるか、水稲等の青々とした緑の確 保をどのように事業展開できるか。 昨年は米価が上昇したが、一方で、 夏場の高温障害、カメムシ等の大量 発生による被害で、反当りの収量は 著しく減ってしまった。小規模農家は 結局収入が増えていない。農業経営 と農業委員の仕事との違いを痛感し ながら農業を行っている。地域に見 合った実態把握がますます重要にな る事と思う。難しいと思うが、いかに 農業が容易にできるか許認可等の 手続きにも携わっていきたくと考 えており、今後一番問題になるのは農 業人口の減少と更なる高齢化だと感 じている。	—	—	—	—	—	—	—	—	—
2	応募	池田 庄司	73	男	農業	平成14年1月～平成28年3月 埼玉県庁奉職の傍ら兼業農家として農業に従 事 平成28年4月～現在 平成29年6月～令和5年5月 平成30年2月～令和4年6月 平成30年4月～令和6年3月 令和3年6月～令和6年3月 令和4年7月～現在 埼玉県庁奉職の傍ら兼業農家として農業に従 事 退職後専業農家として農業に従事 埼玉みずほ農業協同組合 監事 久喜市農地利用最適化推進委員(栗橋5) 久喜市栗橋地区(島川)区長 久喜市社会福祉協議会 評議員 久喜市農業委員会委員1期目	水稲作付 7,169㎡ 野菜作付 500㎡ 保全管理 5,436㎡	無	推進委員、農業委員の業務を遂行 する中で、旧栗橋地区の新井地区、 高柳地区への農地中間管理事業導 入の難しさを経験した。地権者、農 業経営者の意向を反映し地域として の意見集約の難しさを痛感した。 今、農業を取り巻く環境は大きく変化 していることを肌で感じている。農地 中間管理事業を最大限活用し農地 の効率的な利用促進と農地集積集 約化を図ることが喫緊の課題であ る。今までの経験を活かし行政と密 接に連携して、久喜市農業政策の推 進に尽力したいと思い応募した。農 家の長男として優良農地を将来に引 き継ぐことが必要であると常々考え ている。微力ながら一生懸命頑張 る。	—	—	—	—	—	—	—	—	—
3	推薦	奈良 晴夫	70	男	農業	元農協勤務 埼玉みずほ農協監事	稲作48a、野菜10a	無	候補者は、兼業農家としてJAIに勤 務しながら米作を中心に農業に従事 してきた。また現在、農業委員や農 協監事として積極的に諸活動へ取り 組んでいる。よって、農業委員として 適任であると判断し推薦する。	奈良幸男 遠藤正治 島野利夫	77 83 69	男 男 男	農業 農業 農業	—	—	—	—	—

被推薦者／応募者										推薦者(個人)				推薦者(法人・団体)				
No.	推薦 応募 の別	氏名	年齢	性別	職業	経歴	農業経営の状況	認定農業者 等の有無	推薦・応募の理由	氏名	年齢	性別	職業	名称	代表者又は 管理者の氏名	活動の目的	構成員数	構成員の資格、 要件等
8	応募	岡田 武	71	男	農業	昭和51年4月 平成 8年3月 学校卒業後、埼玉県中央青果(株) 入社 埼玉県中央青果(株) 退社 家業の農業を継ぎ現在に至る	水稲220a キウイフルーツ18a	有	現在農業委員として2期目の活動中。引き続き、農地パトロールや遊休農地の発生防止・解消に向けた現場活動、担い手への農地集積・集約化の推進活動、新規就農の支援活動をしていきたい。	—	—	—	—	—	—	—	—	—
9	推薦	原 義雄	56	男	農業	昭和63年 平成23年 平成25年 令和3年 両親とともに苺と水稲作りに従事 大型特殊免許を取得(農業機械用) 地域の担い手として登録 認定農業者に認定	水稲 92,000㎡ 畑 9,000㎡ 梅 3,000㎡ 苺 4,000㎡ 苺の苗 2,000㎡ 施設 連棟ビニルハウス 4,000㎡ 単棟ビニルハウス 2,000㎡	有	夫婦で水稲、苺栽培に意欲的に取り組んでおり、水稲の作付面積も増やしており、地域の信頼も厚く、担い手として活躍しており、農業委員として最適なので推薦する。	長谷川勲 島田英重 長谷川秀之	73 72 69	男 男 男	農業 農業 農業	—	—	—	—	—
10	推薦	宮城与四郎	71	男	農業	昭和50年4月 平成15年～17年 平成23年～令和5年6月 平成25年3月 平成26年6月 令和2年6月 令和3年3月～現在 令和4年6月～現在 埼玉県共済農業協同組合連合会入会 鷲宮町農業委員 埼玉みずほ農業協同組合理事 全国共済農業協同組合連合会埼玉県本部副 本部長 定年退職 埼玉みずほ農業協同組合代表理事組合長就 任 埼玉みずほ農業協同組合代表理事組合長退 任 青毛堀用悪水路土地改良区理事 久喜市農業委員会委員1期目	保有する農地:水田1万5,671 ㎡、畑9,316㎡ 合計2万4,987 ㎡ 保有する農地のうち、1万2,302 ㎡で蕎麦を作付け、JA埼玉みずほ へ出荷 畑587㎡で野菜数種類を栽培し、 直売および自家用としている。 水田8,275㎡は貸付け、梨園3, 894㎡は農業委員会を介して農地 利用集積に基づき利用権設定をし ている。	有	宮城与四郎氏は、代々続く専業農家に生まれ、農業高校、東京農大と一貫して農業の勉強をされ、その後は埼玉県の農協系統の仕事に従事する傍ら、兼業農家として認定農業者として、更には旧鷲宮町農業委員として地域農業を守る活動を続けてこられた。JAグループでは、全共連埼玉県本部の副本部長を歴任され、埼玉県の農業事情にも見識がある。定年後は、地元JAの代表理事組合長として、幸手市、久喜市(旧栗橋町・鷲宮町)、春日部市(旧庄和町)の農業発展のために尽力された。6年間地元JAの組合長として、農業に関する様々な経験を有している。この度、久喜市の農業委員の募集にあたり、久喜市農業委員を1期経験され、前記したように一貫して埼玉県農業、地域農業やJAグループの仕事に従事された経験を、是非とも久喜市農業のために活かしていただきたく、農業委員として推薦するものである。	酒巻俊彦 宮城正雄 矢野 学	72 75 51	男 男 男	農業 農業 農業	—	—	—	—	

被推薦者／応募者										推薦者(個人)				推薦者(法人・団体)				
No.	推薦 応募 の別	氏名	年齢	性別	職業	経歴	農業経営の状況	認定農業者 等の有無	推薦・応募の理由	氏名	年齢	性別	職業	名称	代表者又は 管理者の氏名	活動の目的	構成員数	構成員の資格、 要件等
11	推薦	長谷川 智英	67	男	農業	昭和51年4月 昭和58年11月 昭和58年11月 令和3年12月 令和4年7月 日産プリンス埼玉(株)入社 日産プリンス埼玉(株)退社 鷺宮町農協(現埼玉みずほ農協)入組 埼玉みずほ農協退職 久喜市農地利用最適化推進委員1期目	水稲耕作(借入地含)約8ha	有	当地域において先進的農業経営を 実行しているため推薦する。	出井栄一 小林文男 渡邊哲雄	74 77 78	男 男 男	農業 農業 農業	—	—	—	—	—
12	応募	早野 公夫	79	男	農業	学校卒業後、農業従事 21歳 丸二運輸就職 30歳退社 30歳 埼玉急便設立 40歳退社 40歳 産業廃棄物処理会社入社 50歳 退社 農業に従事、現在に至る 久喜市農業委員歴任 現在に至る	昨年まで白岡市、加須市にて田畑 を耕作していた。現在は、自宅近く を耕作している。	有	高齢化等により、市内でも年々多く なってきた耕作放棄地の解消に尽力 していきたい。	—	—	—	—	—	—	—	—	
13	応募	野口 和幸	77	男	農業	現在 上尾市役所入庁 街づくり等に従事 江面本田51区区长 江面第一小学校 学校運営委員 南彩農協・見沼代用水 総代 久喜市農業委員会委員1期目	米作 110a 一部特別栽培米生産 露地野菜50a、果樹10a 一般野菜の他、自然薯、アピオス、 ピシヨップスクラウンの栽培 JA南彩その他に出荷	有	農地は、農業生産の基盤として地域 における貴重な資源であることを踏 まえ、農地法及び関係法令に基づき 農地利用の最適化の推進や地域農 業の課題(遊休農地・耕作放棄地 等)の防止・解消に向け、これまで携 わった経験を基に持続可能な農家 の向上に力添えできたらと考え応募 した。	—	—	—	—	—	—	—		
14	応募	大澤 一樹	48	男	農業	2010年 2012年 2019年 2020年 2022年 2023年 2024年 2025年 就農 認定農業者に認定 農地利用最適化推進委員就任 JA南彩青年部部長就任 S-GAP取得 埼玉県農業経営塾修了 久喜市農業委員会委員就任 JA南彩青年部理事就任 埼玉県指導農業者就任 法人化する。	1haのニホン梨を栽培 販売方式は、自宅直売所、ネット ショップで全量直売を行っている。2 025年から法人となる。	有	農業の担い手が減少する中、新規 に就農する農家に農地の輪転、農 業技術、経営ノウハウ、販路や地域 の農業関係の団体への加入推進な ど生産者の相談相手となって久喜市 の農業が持続するための一助を担 いたい。	—	—	—	—	—	—	—		

